

教えてドクター

肝臓の画像検査を受けてみませんか？

肝臓の画像検査は、肝疾患の診療を行う上で必要不可欠です。初めて肝機能異常を指摘された患者さんの原因検索、慢性肝疾患の患者さんに対する定期的な発癌(がん)の有無チェック、癌治療中の患者さんの経過確認など、さまざまな目的で行われます。

肝臓の画像検査には、エコー検査、CT検査、MRI検査があります。エコー検査は最も患者さんへの負担が少なく、最初の画像検査としてよく用いられます。エコーで異常が疑われた場合には、CT検査やMRI検査で追加の精査を行います。造影剤を使って撮像することもありま

す。アレルギーや腎機能障害のために造影剤を使用できない患者さんには、専門医療機関で造影剤を用いたエコー検査を行うこともできます。

肝臓の検査で引っかけたことがあり、追加の検査を受けていない方は、ぜひ一度画像検査を受けてみませんか？

早期診断、早期治療を心がけましょう!!

DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 消化器内科

豊留 亜衣 先生



初開催! 「鹿児島県肝炎医療コーディネーター研修会」

日時 6月19日(日)午前

詳細は5月20日頃、当センターホームページをご覧ください。

※肝炎医療コーディネーター新規・更新認定(認定期間:
次年度4月から2年間)研修会としても位置付けております。



特別研修 「ウイルス肝炎に対する差別・偏見について(仮)」

長崎医療センター院長 八橋 弘 先生

※鹿児島県では例年、12月第1週日曜に、肝炎医療コーディネーター養成講座を開催しております。

日本肝臓学会「肝がん撲滅運動」市民公開講座

令和4年度 鹿児島県肝疾患診療連携ネットワーク講演会(第1回研修会) 合同開催

日時 8月7日(日)午前

詳細は7月8日頃、当センターホームページをご覧ください。
新聞折込チラシやポスター等でもお知らせします。